

党議席のかけがえない値打ち語り、 広げて総選挙勝利を



こくた国対委員長が講演

近畿ブロック事務所は13日、大阪市内で総選挙勝利へ党議席の値打ちを学ぶ学習会を開き、近畿2府4県から100人余が参加。こくた恵二・党国会対策委員長（比例・京都1区候補）が「日本共産党国会議員団と近畿におけるかけがえない役割について」と題して講演しました。「今日のような話を私も語るようにせねば」などの感想も出ました。こくた氏の講演の要点は以下の通りです。（文責・近畿ブロック事務所）

一、すべてを総選挙勝利、都議会議員選挙勝利につなげる努力を

ここで「すべてを」と言っているのは、

- ・「比例は日本共産党」を片時も忘れない。選挙区中心から脱却できていない。
- ・一つ一つの努力を総選挙勝利に向けてやる。「赤旗」の記事も総選挙との関連で見る
- ・地方議員のニュースも選挙が近づいてからでなく、比例、総選挙、国政を位置づける

二、今国会の焦点と当面する課題

①安倍改憲

・憲法違反だとズバリ言う 憲法擁護尊重義務違反、立法府への行政府の不当な介入（三権分立違反）

・9条に3項を設けて自衛隊に書き込むことは、自衛隊の追認するにとどまらず、文字通り無制限の海外での武力行使に道を開き、2項を死文化→9条が9条でなくなる

・安倍改憲発言のシナリオは、右翼団体・日本会議

②共謀罪

- ・内心の自由を侵す違憲立法が本質。本質をごまかそうとするから荒唐無稽の答弁になる。法務大臣の首すげ替えという問題でない
- ・テロ対策は口実、一般の人にも対象になる

一、日本共産党議員団全体の奮闘と実績を常に念頭に置いて

□皆さんの奮闘と国民の支持による前進が、日本共産党国会議員団の存在感を増した

・何が変わったか 本質は、党と国民との垣根が低くなった。全常任委員会に委員を配置。未配置だった農水委ではTPP、法務委では共謀罪の論戦。

・質問時間は大幅に増えたが、1分、1分をどれだけ大切にしているか。自民党はカジノ法案審議で時間稼ぎのために「般若心経」を読んだ。国会の墮落

- ・多様な質問ができ、地元要求にも対応
- ・野党第2党だから、野党国対委員長会談、書記局長・幹事長会談で存在感を発揮

一、野党と市民の共闘について

（1）新しい政治対決の構図。わずか1年半の大きな変化を見る

・15年9月19日「国民連合政府」を提唱
・16年2月19日 野党党首会談合意①安保法制廃止、集団的自衛権容認の閣議決定撤回を共通目標に②安倍政権打倒③国政選挙で与党・補完勢力を少数に④国会対応、国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力

・5月19日 党首会談での選挙協力のさらなる推進を確認。つづく書記局長・幹事長会談で4項目の合意

・「日本共産党も変わらなければならない」「清水の舞台から飛び降りる」の思いでやってきた一全選挙区での野党共闘の方針提起はその象徴

（裏面につづく）

総選挙勝利近畿ブロックニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 15(2017. 5. 15)

- (2) 参院選結果と新潟知事選勝利の意義 (略)
- (3) 共闘の進化・深化 (略)
- (4) 日本共産党の役割 (略)
- (5) 偏見に基づく党攻撃を打ち破ろう (略)

一、維新の会の政治的本質

- ・改革者を装うが、本質は自民党の別働隊であり、憲法改悪の先兵。森友学園問題に深く関わっている
- ・国会では安倍内閣礼賛と野党批判が唯一の役割。国会の民主的運営に無理解だけでなく、破壊者。国民の要求とは無縁で、実現を阻む潮流

二、近畿における日本共産党の歴史と伝統

- (1) 全県に国会議員を持った歴史と伝統を誇りに
- (2) 全国最強の地方議員団を持ち、全国最有力の党勢力を持つ地域
- (3) 近畿の日本共産党国会議員団の歴史と伝統も語り継ごう
 - ・「原発問題なら吉井英勝さん」。過酷事故が起きたらどうなるかを事故の前に指摘
 - ・同和問題の解決など、それぞれの地域での活躍にも改めて光を当てよう

三、現職議員の活躍とかけがえのない役割

- (1) 近畿には衆院 4 人（近畿比例・こくた恵二、宮本たけし、清水ただし、堀内照文）、参院 6 人（比例・市田忠義、山下芳生、井上哲士、大門実紀史、大阪・辰巳孝太郎、京都・倉林明子）の 10 人いる。衆・参院あわせて力にする
- (2) 現職議員の値打ちとポイント
 - 宮本衆院議員：森友学園問題追及のエース。高等教育無償化と奨学金問題のパイオニア
 - 清水衆院議員：カジノ問題徹底追及の第一人者。盗聴法問題でも大きな役割。
 - 堀内照文衆院議員：社会保障問題のエキスパート。「保育園落ちた」問題の本質をえぐる論戦。保育の規制緩和を追及。労働者派遣法をめぐる論戦を一步も譲らず展開
 - 市田参院議員：党書記局長 13 年。第 3 の躍進の扉を開いた。環境委員会に所属。「水俣病と言えば市田さん」と言われるほど信頼
 - 山下参院議員：党副委員長。党の参議院の沖縄問題担当。オスプレイの危険を暴露。党の国民運動委員会責任者



- 井上参院議員：党参院国対委員長。外交防衛委員会に所属、南スーダン PKO 問題などを追及、安保問題の第一人者。被爆二世であり、核兵器廃絶がライフワーク
- 大門参院議員：経済論戦の第一人者。消費税増税、大企業優遇税制、タックスハイブン問題で追及。銀行カードローン規制など経済問題でヒット
- 辰巳参院議員：森友問題の党議員団の責任者。コンビニ問題に取り組み、民泊問題で TPP との関連でも追及
- 倉林参院議員：年金カットと対決。障害者、弱い立場の人に心寄せる温かい人柄。高浜原発の避難計画が机上の空論であることを暴いた追及は見事
- こくた衆院議員：文字通りの党の顔。野党共闘のカナメ。国会対策委員長 20 年。国土交通委員として 7 兆円の 6 つの海峡横断道路計画をやめさせた

野党共闘は日本共産党の前進なしに進まない。野党共闘がどうなるかの様子見をせず、日本共産党の前進に力を注ごう。議員の持っている良さ、議席の値打ちを宣伝することが新しい躍進にもつながる。

参加者の感想から

- ・今回のようなテーマで学習会や国会議員との懇談を行い、理論的にも感情的にも実感できるようにしたい
- ・非常に面白く、エッセンスの詰まった報告でした。「比例は日本共産党」心一つに総選挙に結びつける構えを学びました
- ・日本共産党の国会での議席増によって具体的に党の果たしている役割が伝わってきました。これを語りたい
- ・この間の党の躍進で、国会議員団の役割と実績が引き上がっていること、もっと国会議員団の力を借りて住民要求実現、苦難の軽減に真剣に取り組む必要があると感じました